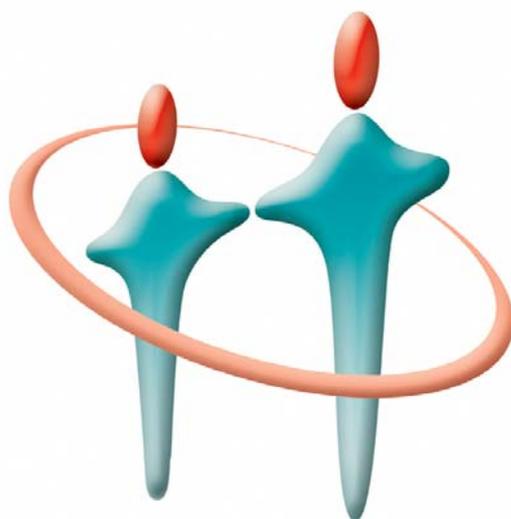


平成28年度事業報告/ 及び決算報告



JAPAN SOCIETY OF
NINGEN DOCK

公益社団法人

日本人間ドック学会

目次

(事業報告)

I. 序章	1
1. 事業実施事項	1
2. 役員／社員／会員数等	4
(公益目的事業)	
II. 第 57 回 日本人間ドック学会学術大会	5
1. 開催概要	5
2. 学術大会主要プログラム	6
III. 学会誌	8
学会誌	8
IV. 人間ドック認定医制度	9
1. 第 18 回人間ドック認定医認定	9
2. 第 13 回人間ドック認定医更新	9
V. 人間ドック健診専門医制度	9
1. 平成 28 年度人間ドック健診専門医認定試験 認定者数	9
2. 人間ドック健診専門医制度 研修施設・指導医 認定・更新数	9
VI. 人間ドック健診施設機能評価	10
1. 人間ドック健診施設機能評価 認定施設数	10
2. 第 17 回サーベイヤー研修会	10
3. 公式講習会	10
4. 保健指導実施施設認定調査事業説明会／調査者研修会	11
VII. 研修会・人材育成活動	12
1. 人間ドック認定医・人間ドック健診専門医の育成	12
2. 人間ドック健診情報管理指導士の育成	12
3. 人間ドック健診情報管理指導士 ブラッシュアップ研修会	13
(その他の事業)	
VIII. 他団体等への紹介や指定	14
1. 健保連等への人間ドック実施施設指定	14
2. 特定健康診査・特定保健指導実施施設を保険者へ紹介(集合契約A)	14

(決算報告) 平成 29 年 3 月 31 日 現在

1. 貸借対照表	1
・ 貸借対照表内訳表	2
2. 正味財産増減計算書	3
・ 正味財産増減計算書内訳表	4
・ 財務諸表に対する注記	5
3. 財産目録	6
・ 附属明細書	7

事業報告

<事業報告>

I. 序章

1. 事業実施事項

1) 学術大会開催に関する事項

第57回日本人間ドック学会学術大会

期日：2016年7月28日(木)～29日(金)

会場：長野県松本市まつもと市民・芸術館、ホテルブエナビスタ、松本東急イン
テーマ：「健康で美しく生きるために ～人間ドックのパラダイム～」

学術大会長：相澤 孝夫(社会医療法人財団慈泉会相澤病院 理事長・院長、
相澤健康センター 名誉センター長)

2) 研修会開催に関する事項

- ①人間ドック健診認定医・専門医研修会の開催(年3回)
- ②人間ドック健診施設機能評価サーベイヤー研修会の開催(年1回)
- ③人間ドック健診施設機能評価看護職サーベイヤー研修会の開催(年1回)
- ④人間ドック健診施設機能評価公式講習会の開催(年2回)
- ⑤人間ドック健診情報管理指導士研修会の開催(年2回)
- ⑥人間ドック健診情報管理指導士ブラッシュアップ研修会の開催(年5回)
- ⑦人間ドック健診で遺伝学的検査を実施するためのセミナー他学会との共同開催

3) 人間ドック認定医・専門医制度に関する事項

- ①人間ドック認定医の質の向上と強化
- ②人間ドック健診専門医試験の実施(日本総合健診医学会と共同実施)
- ③人間ドック健診指導医の認定・指導医育成のための研修会の実施
- ④人間ドック健診研修施設の認定
- ⑤新機構専門医制度整備指針(第1版)に基づいた制度の再構築

4) 人間ドック健診施設機能評価に関する事項

- ①人間ドック健診施設の審査・認定
- ②人間ドック健診施設機能評価受審の推進(Ver4に向けた検討含む)
- ③簡易版・新評価事業等の検討
- ④保健指導実施健診施設の審査・認定
- ⑤サーベイヤー教育研修の企画実施
- ⑥全国労働衛生団体連合会との腹部超音波検査の精度管理事業の共同実施
- ⑦全国労働衛生団体連合会との共同事業の検討

5) 人間ドック健診情報管理指導士に関する事項

- ①人間ドック健診情報管理指導士の認定
- ②人間ドック健診情報管理指導士の更新

6) 特定健診・特定保健指導に関する事項

- ①特定健診・特定保健指導施設のとおりまとめと保険者への紹介(集合契約A)
- ②特定健診・特定保健指導に関する情報収集活動の強化

7) 健康保険組合連合会等との指定契約に関する事項

- ①人間ドック健診施設の一日ドック・二日ドックの指定
- ②旧二日ドック指定施設の実査の実施
- ③他団体との指定施設統一化の検討

8) 広報活動に関する事項

① 学会誌「人間ドック」の充実、投稿の拡大強化

VOL. 31	NO. 1	2016. 6	(原著論文・学会大会)
VOL. 31	NO. 2	2016. 7	(学会大会プログラム・抄録集)
VOL. 31	NO. 3	2016. 9	(原著論文集)
VOL. 31	NO. 4	2016. 12	(原著論文・学会大会開催案内集)
VOL. 31	NO. 5	2017. 3	(原著論文/学会大会開催案内第2報)

② 英文誌「Ningen Dock International」の充実、投稿の拡大強化

VOL. 4	NO. 1	2016. 9	(原著英文誌)
VOL. 4	NO. 2	2017. 3	(原著英文誌)

* 英文誌の発刊については原著英論文の投稿状況に応じて年1～2回とする

③ ホームページの英語版ページの充実化

④ 電子化し、独立行政法人科学技術振興機構 (JST) が構築した J-STAGE に掲載する

⑤ 国内外学術団体及び協力団体等との情報交換を積極的に展開

⑥ 学会活動状況及び機能評価認定施設情報等を積極的に公開

9) 委員会活動に関する事項

① 基本問題検討委員会

② 人間ドック健診の有用性に関する大規模調査研究委員会

③ 総務／広報委員会

④ 健保連等人間ドック健診の質に関する検討委員会(日病との合同)

⑤ 倫理委員会

⑥ 人間ドック健診施設機能評価委員会

・ 機能評価事業運営検討小委員会／保健指導実施施設認定検討小委員会

⑦ 学術委員会

・ がん登録小委員会／基準検査検討小委員会／喫煙対策小委員会／
女性の間ドック健診の在り方に関する小委員会

⑧ 編集委員会

・ Pub Med ならびに Web of Science 収録に関する小委員会

⑨ 人間ドック健診統計調査委員会

⑩ 人間ドック健診専門医制度合同委員会 (日本総合健診医学会との合同委員会)

・ 試験問題検討/作成小委員会／認定小委員会／研修会検討小委員会／
施行規則細則改定小委員会／研修プログラム・カリキュラム検討作成小委員会

⑪ 人間ドック健診認定医/専門医制度委員会 (単独)

⑫ 人間ドック健診判定・指導マニュアル作成委員会

⑬ 特定健診/特定保健指導対策委員会

⑭ 国際委員会

⑮ 遺伝子検査に関わる検討委員会

⑯ 社員選任／役員選定委員会

⑰ 調査票作成ワーキンググループ

その他必要とされる委員会は逐次開催する。

10) 統計・調査に関する事項

① 人間ドック健診受診者データの経年的分析、蓄積

② 特定健診/特定保健指導受診者数データの整理、蓄積

③ 行政機関、他の学術団体との比較可能なデータの集積

④ 人間ドック健診施設機能評価認定施設のデータの整理

11) その他

- ①日本医学会への加盟
- ②人間ドック健診に関わる「健診団体連絡協議会」設立の準備
- ③NPO 法人日本人間ドック健診協会等他団体との連携を深める
- ④日本総合健診医学会との相互交流・意見交換会（理事長・副理事長懇談会の開催等）
- ⑤厚生科学研究事業等積極的に参加
- ⑥厚生労働省・経済産業省の日本医療の国際展開事業への協力
（JMIP・MEJ・シベリア鉄道病院プロジェクト等）
- ⑦事務局体制の強化

2. 役員／社員／会員数等

①役員数等	理事長	1名
	副理事長	5名
	理事	24名
	監事	3名
	(名誉顧問)	18名
	(名誉会員)	49名

②社員数 171名(内役員は32名)

③正会員 / 施設会員 / 賛助会員数 (平成29年3月31日現在)

A会員 (医師)	5,655名
B会員 (医師以外)	450名
C会員 (施設 (医療機関))	1,670施設
S会員 (企業など)	31団体

④その他

・人間ドック認定医・専門医数及び指導医、研修施設数 (平成29年3月31日現在)

認定医交付人数	5,240名
専門医交付人数	1,640名
研修施設数 (新制度)	310施設
指導医数 (新制度)	925名

・人間ドック健診情報管理指導士累積人数	6,356名 (平成29年3月31日現在)
・人間ドック健診食生活改善指導士累積人数	938名 (平成29年3月31日現在)
・人間ドック健診施設機能評価累積認定数	382施設 (平成29年3月31日現在)

・一日ドック／二日ドック指定数 (平成29年3月31日現在)

一日ドック	124施設
二日ドック	313施設
一日ドック・二日ドック両方	176施設

(公益目的事業)

II. 第 57 回 日本人間ドック学会学術大会

1. 開催概要

1. 開催日程 平成 28 年 7 月 28 日(木)・29 日(金)
2. 開催会場 まつもと市民芸術館、ホテルブエナビスタ、松本東急 REI ホテル
3. 学術大会長 相澤 孝夫 (社会医療法人社団慈泉会理事長/
相澤健康センター名誉顧問)
4. テーマ 『健康で美しく生きるために ～人間ドックのパラダイム～』
5. 開催内容

学術大会長講演	1 題
特別講演	1 題
教育講演	1 題
招待講演	1 題
シンポジウム	4 題
特別企画	2 題
国際セッション (口頭発表)	7 題
会員集会・全国集計報告ほか	1 題
一般演題※ (申込数: 529)	525 題*
	計 542 題
*口頭発表: 425 題、ポスター発表: 100	
ランチョンセミナー	18 題
企業・書籍・音響展示	98 ブース (74 社)
6. 参加実人数 4,469 名 (内 3,819 名/有料)

・ 事前登録参加者	2,302 名
(医師)	1,415 名)
(その他)	887 名)
・ 当日参加者	1,517 名
(医師)	978 名)
(その他)	539 名)
・ 招待者	105 名
・ ランチョンセミナー共催企業 (18 社)	180 名
・ 展示企業 (74 社)	365 名
7. 併設企画
第 41 回人間ドック健診認定医・専門医研修会 998 名
8. 市民向け
市民公開講座 「腸内細菌が健康寿命を決める！」
主催: 第 57 回日本人間ドック学会学術大会/
特定非営利活動法人 日本人間ドック健診協会
協賛: 長野県農協直販株式会社、南信ヤクルト販売株式会社、
ホクト株式会社、花王株式会社、株式会社マル井、
伊那食品工業株式会社、ミヤリサン製薬株式会社
参加人数 約 500 名

2. 学術大会主要プログラム

主要プログラム

第1日目 (7月28日(木) 第1会場 (まつもと市民芸術館 2F 主ホール)
開会式 8:45 ~ 9:00

- 大会長講演 9:00 ~ 9:30
「健康で美しく生きるために一人間ドックに求められること」
- 特別講演 9:30 ~ 10:30
「これからの医療・健診における国際展開」
- シンポジウム I 10:30 ~ 12:00
「これからの時代における人間ドックへの期待」
- シンポジウム II 14:00 ~ 16:00
「高齢化社会に向けての健康長寿延伸の取り組み～運動器の健康・検診～」
演者：「松本市の健康づくりの取り組み」
「10歳若返る「インターバル速歩」-生活習慣病・介護予防のための新しい運動処方システム-」
「ロコモ・サルコペニアの予防と管理」
「慶應義塾大学病院予防医療センター運動器ドックからみた介護・フレイル予防のヒント」
- 教育講演 14:00 ~ 15:00
「膵癌診療の現状と将来 やっと“光”が見えてきた」

第2日目 (7月29日(金) 第1会場 (まつもと市民芸術館 2F 主ホール)

- シンポジウム III 9:00 ~ 10:45
「今後の認知症戦略～オレンジプランによる推進～」
演者：「認知症に対し社会はどうあるべきか」
「認知症薬物治療の展望」
「認知症の早期診断と予防」
「地域で認知症の人を支える」
- 招待講演 11:00 ~ 12:00
『その時歴史が動いた』の現場から日の本一の兵・真田幸村
- 日本人間ドック学会会員集会 14:00 ~ 16:00
 - ・事業報告等
 - ・第58回学術大会について
 - ・2015年人間ドック全国集計成績報告
 - ・各種委員会報告『人間ドック健診の有用性に関する大規模研究委員会 委員会報告』
「生活習慣が心房細動や左脚ブロックに及ぼす影響について」
「75gOGTT 検査の時間経過データを基に食後高血糖が動脈硬化に及ぼす影響について」
「人間ドック健診集積データ解析～2014年度分の140万人のデータを基に解析～厚労省の特定健診NDB との比較検討」

「ドック健診は生活習慣病の悪化を抑制しているか」
(糖尿病の進展)・ベースラインを決め、血糖値・HbA1c データを使ってドック健診受診者と企業健診受診者の毎年後のデータ比較」
「肥満のパラメータの変化と血清尿酸値の変化の関連の検討」
「骨密度の低下と呼吸機能・心機能障害の関連」

・表彰式

人間ドック健診施設機能評価優秀賞 9施設
学会誌2015 年度 優秀論文賞(和文1題、英文1題)

■ 閉会式 16:00 ~ 16:30

プレナリーセッション最優秀口頭・ポスター(学術大会長賞)表彰式

■ シンポジウム IV 13:55 ~ 15:55

「新しい手法による大腸がん検診の展望」

演者: 「がんスクリーニングとしてのアミノインデックス」

「CT colonography の現状と展望」

「大腸カプセル内視鏡の現況と今後の展望」

「PET がん検診の現状と展望」

■ 特別企画 I 9:00 ~ 11:00

「超音波検査 ライブセミナー 上腹部」

演者: 「肝腎脾の描出における体位変換と撮像手順の重要性」

「膵胆道領域の超音波解剖と描出法を極める」

■ 市民公開講座 14:00 ~ 16:00

「腸内細菌が健康寿命を決める！」

第1部 「受けてよかった人間ドック」体験記コンクール表彰式

第2部 「知っておきたいがん検診」

第3部 「腸内細菌が健康寿命を決める！」

7月28日(木)

■ 国際セッション第2 会場(まつもと市民芸術館 2F 小ホール)(演題名と国籍のみ)

Decreased serum magnesium level is associated with arterial stiffening in health check-up subjects (Japan)

Trend of Tuberculosis incidence since 1987, Impact of HIV epidemic and medico-social determinants(Thailand)

Health Checkup for Japanese Expatriates in International SOS Tianjin Clinic
Clinical significance of IgM rheumatoid factor in Ningen Dock(Japan)

Clinical significance of IgM rheumatoid factor in Ningen Dock(Japan)

The effect of the Japanese health promotion policies on annual health checks:
A 10-year comparison of the data in our institute(Japan)

Reference intervals of plasma free essential amino acid profiles and their application for health monitoring(Japan)

Plasma free amino acid profile for predicting four-year risk of developing new-onset lifestyle-related diseases(Japan)

Ⅲ. 学会誌

①和文誌「人間ドック」 (年5回)

VOL. 31	NO. 1	2016. 6	(原著論文・学会大会)
VOL. 31	NO. 2	2016. 7	(学会大会プログラム・抄録集)
VOL. 31	NO. 3	2016. 9	(原著論文集)
VOL. 31	NO. 4	2016. 12	(原著論文・学会大会開催案内集)
VOL. 31	NO. 5	2017. 3	(原著論文/学会大会開催案内第2弾)

②英文誌「Ningen Dock International」(年2回)

VOL. 4	NO. 1	2016. 9	(原著英文誌)
VOL. 4	NO. 2	2017. 3	(原著英文誌)

③電子化し、独立行政法人科学技術振興機構(JST)が構築したJ-STAGEに登載

IV. 人間ドック認定医制度

1. 第18回人間ドック認定医認定

人間ドック認定医制度は、平成28年4月1日の認定者数は211名であり、認定医交付総数として5,240名となった。

2. 第13回人間ドック認定医更新

人間ドック認定医制度（更新）は、平成28年4月1日の更新者数は299名であり、更新者総数は3,505名である。

V. 人間ドック健診専門医制度

平成23年度より名称を『人間ドック健診専門医』と変更し、平成24年度より日本総合健診医学との合同事業となった。平成28年度人間ドック健診専門医認定試験を両学会合同にて実施し、当日受験者数269名（日本人間ドック学会238名、日本総合健診医学会31名）、受験合格者数は265名（日本人間ドック学会234名、日本総合健診医学会31名）であった。日本人間ドック学会更新者は140名、日本総合健診医学会更新者23名が新たに新制度に移行し、平成28年度人間ドック健診専門医認定者は合計428名となった。人間ドック健診専門医認定者には、両学会認定の専門医認定証を交付し、更新までの5年間に50単位（両学会企画30単位以上・両学会以外の企画上限20単位）を取得することとなる。

1. 平成28年度人間ドック健診専門医認定試験（日本総合健診医学会との合同5回目）

日時：平成28年10月16日（日） 13:00～15:00（受付11:30～）

会場：ベルサール神田2階ホール、3階会議室（東京都千代田区神田美土代町7）

受験対象者：社員および申請した認定医更新者等 資格該当者

試験内容： ●試験問題集および追加問題含め 計100問出題

●100分間 マークシート方式による筆記試験

◆平成28年度人間ドック健診専門医 認定者数

日本人間ドック学会 平成28年度専門医認定者数：234名、

新制度更新者数：140名 合計374名

（日本総合健診医学会 平成28年度認定者数：31名 新制度更新者数：23名）

認定期間は、平成29年4月1日～平成34年3月31日 5年間とする。

【人間ドック（健診）専門医認定者数（ドック学会累計）：1,640名】

2. 平成28年度人間ドック健診専門医制度 指導医・研修施設 認定数

新制度条件を満たした指導医・研修施設を両学会で認定した。

- ・日本人間ドック学会 指導医：249名（新規認定235名、更新認定14名）
研修施設：45施設（新規認定30施設、更新施設15施設）

（日本総合健診医学会： 指導医：新規認定13名、更新認定5名、

研修施設：新規認定2施設、更新施設9施設）

認定期間は、平成29年4月1日～平成34年3月31日 5年間とする。

【人間ドック健診指導医 新制度認定者数（ドック学会 累計）：925名】

【人間ドック健診研修施設 新制度認定数（ドック学会 累計）：310施設】

VI. 人間ドック健診施設機能評価

平成 29 年 3 月末現在、519 施設から受審申請がある。認定施設の累計は 382 施設である。
 (うち 2 回更新済み 127 施設、1 回更新済み 132 施設、更新辞退 31 施設)
 認定施設の分布状況は、44 都道府県に認定施設がある。

【認定施設の分布 *平成 29 年 3 月末現在。更新辞退施設を除く】

北海道	14	東京都	59	滋賀県	2	香川県	3
青森県	3	神奈川県	21	京都府	11	愛媛県	3
岩手県	4	新潟県	7	大阪府	25	高知県	3
宮城県	8	富山県	2	兵庫県	12	福岡県	11
秋田県	5	石川県	4	奈良県	3	佐賀県	2
山形県	4	福井県	3	和歌山県	0	長崎県	3
福島県	2	山梨県	1	鳥取県	0	熊本県	3
茨城県	4	長野県	12	島根県	2	大分県	4
栃木県	5	岐阜県	7	岡山県	9	宮崎県	0
群馬県	5	静岡県	8	広島県	10	鹿児島県	3
埼玉県	10	愛知県	22	山口県	3	沖縄県	5
千葉県	14	三重県	7	徳島県	1	海外(台湾)	2

●第 17 回サーベイヤー研修会

サーベイヤーのスキルアップおよび最新の評価基準の解釈周知等を目的に例年開催している。

- 1.日 時：平成 28 年 7 月 27 日（水） 13：00～15：30
- 2.会 場：ホテルブエナビスタ 3 階 グランデ（長野県松本市）
- 3.参加者：サーベイヤー84 名

※サーベイヤー初任者研修会

- 第 1 回 平成 28 年 5 月 13 日（金） 14：00～16：00
- 第 2 回 平成 28 年 11 月 11 日（金） 14：00～16：00

●公式講習会

人間ドック健診施設機能評価受審（希望）施設を対象に講習会を開催した。

<第 1 回>

- 1.日 時：平成 28 年 7 月 30 日（土） 9：30～12：30
- 2.会 場：まつもと市民芸術館 4 階 スタジオ 2（長野県松本市）
- 3.参加者数：85 名（44 施設）

<第 2 回>

- 1.日 時：平成 28 年 11 月 11 日（金） 12：30～16：00
- 2.会 場：主婦会館エフプラザ 7 階 カトレア
- 3.参加者数：138 名(62 施設)

プログラム：機能評価事業の目的～認定施設に求められる基本的姿勢・理念とは～
人間ドック健診施設機能評価～Ver.3改訂のポイント～
訪問調査概要（書面調査・施設内調査）
各領域の評価基準について
受審に関するQ&A

●保健指導実施施設認定調査事業 説明会・調査者研修会

※機能評価認定施設を対象とし、全国の認定施設の人間ドック健診における指導体制の実態確認、および指導体制構築を推進するために開始した調査事業である。

<第1回受審説明会>

- 1.日 時：平成28年4月15日（金）11：00～16：30
- 2.会 場： 日本人間ドック学会 ホスピタルプラザビル 2F 2A
- 3.参加者数：12名

<第2回受審説明会>

- 1.日 時：平成28年6月10日（金） 14：00～16：30
- 2.会 場： 日本人間ドック学会 ホスピタルプラザビル 2F 2A
- 3.参加者数：32名

<第3回受審説明会>

- 1.日 時：平成29年10月5日（水） 14：00～16：30
- 2.会 場： 日本人間ドック学会 ホスピタルプラザビル 2F 2A
- 3.参加者数：39名

<保健指導施設調査 訪問調査者研修会>

- 1.日 時：平成29年2月1日（水） 14：00～16：30
- 2.会 場： 日本人間ドック学会 ホスピタルプラザビル 2F 2A
- 3.参加者数：39名

Ⅶ. 研修会・人材育成活動

1. 人間ドック認定医・人間ドック健診専門医の育成

●第43回 人間ドック健診認定医・専門医研修会

日 時：平成 28 年 7 月 30 日（土） 9：30～12：45

会 場：まつもと市民芸術館 998 名

開会挨拶

「アミノインデックス技術の臨床応用～健康診断の近未来～」

「膵癌早期診断のための戦略」

「臨床現場における倫理的意識決定法」

●第44回 人間ドック健診認定医・専門医研修会

日 時：平成 28 年 11 月 27 日（日） 12：30～15：45

会 場：神戸ポートピアホール 487 名

開会挨拶

「脳血流と認知症」

「"がん"で死ぬのはもったいない！～予防と早期発見が大切～」

「遺伝子検査導入時の注意と実際」

●第 45 回 人間ドック健診認定医・専門医研修会

日 時：平成 29 年 3 月 5 日（日） 12：30～15：45

会 場：東京ビッグサイト 697 名

開会挨拶

「腸内細菌と炎症性腸疾患－便秘の可能性－」

「Dock で発見された脳動脈瘤の対応」

「前立腺がん検診の現状と今後」

2. 人間ドック健診情報管理指導士の育成

●人間ドック健診情報管理指導士 研修会

(対象：医師・保健師・管理栄養士)

回	日程	会場	認定者	内訳
第 27 回	平成 28 年 6 月 3 日(金)～4 日(土)	大崎ブライトコアホール (東京)	192 名	医師：32 名 保健師：126 名 管理栄養士：34 名 (他修了者：32 名)
第 28 回	平成 29 年 1 月 20 日(金)～21 日(土)	AP 東京駅八重洲通り (東京)	159 名	医師：33 名 保健師：98 名 管理栄養士：28 名 (他修了者：21 名)

【平成 28 年度 プログラムと担当講師】

『基礎編：①健診・保健指導の理念②保健指導対象者の選定と階層化③保健指導の基本的事項』

『基礎編：④保健指導の立案～評価まで⑤ポピュレーションアプローチとの連動』

『技術編：①メタボリックシンドロームの概念』

『技術編：②行動変容に関する理論③生活習慣病改善への行動計画④情報提供、動機付積極的支援の内容』

- 技術編：⑤『身体活動・運動に関する保健指導』
『たばこ・アルコールに関する保健指導』
『食生活に関する保健指導』
『特定保健指導で役立つ口腔保健の知識』
『技術編⑥：保健指導の展開』（演習）
『技術編⑦：保健指導の評価』
『人間ドック健診におけるがん検診—その現状と展望—』

●人間ドック健診情報管理指導士 ブラッシュアップ研修会
(対象：医師・保健師・管理栄養士・食生活改善指導士)

回	日程	会場	参加者数	内訳
第 39 回	平成 28 年 7 月 3 日 (日)	AP 京駅八重洲通り (東京)	<u>264 名</u>	医師：103 名 保健師：105 名 管理栄養士：48 名 看護師等：8 名
第 40 回	平成 28 年 9 月 17 日 (土)	大崎ブライトコアホール (東京)	<u>172 名</u>	医師：36 名 保健師：83 名 管理栄養士：48 名 看護師等：5 名
第 41 回	平成 28 年 10 月 22 日 (土)	AP 東京八重洲通り (東京)	<u>226 名</u>	医師：72 名 保健師：97 名 管理栄養士：44 名 看護師等：13 名
第 42 回	平成 28 年 11 月 20 日 (日)	TKP ガーデンシティ PREMIUM 心斎橋 (大阪)	<u>280 名</u>	医師：82 名 保健師：111 名 管理栄養士：80 名 看護師等：7 名
第 43 回	平成 29 年 2 月 18 日 (土)	大崎ブライトコアホール (東京)	<u>270 名</u>	医師：89 名 保健師：118 名 管理栄養士：63 名

【平成 28 年度 プログラムと担当講師】

『特定保健指導の成果と第三期に向けての方向性』

『一步先行く睡眠指導』

『禁煙成功率を高める禁煙支援のポイント』

『専門家でなくてもできるお酒の減らし方』

『事例検討』（演習テーマ：メンタルに問題を抱えている方への保健指導）

(事例提供)

(事例における食生活指導のポイント講義)

(演習)

(専門家からのポイント講義)

(その他の事業)

Ⅷ. 他団体等への紹介や指定

1. 健保連等への人間ドック実施施設指定

平成 29 年 3 月末現在の指定施設は、一日ドックのみ実施 124 施設（うち 1 施設休止中）、二日ドックのみ実施 313 施設（うち 5 施設休止中）、一日ドック・二日ドック両方実施 176 施設である。

なお、旧制度の二日ドック指定施設は、現制度（機能評価認定）に移行するまでの暫定措置として、実査（実態調査）の受審を条件に平成 29 年度から平成 31 年度までは一日ドック・二日ドック両方の指定とする。

2. 特定健康診査・特定保健指導実施施設を保険者へ紹介(集合契約A)

平成 29 年 3 月末現在の集合契約委託参加施設は 1,643 施設である。またこの集合契約を利用する保険者団体は健康保険組合連合会、全国健康保険協会、共済組合連盟、地方公務員共済組合協議会、日本私立学校振興・共済事業団等 13 団体となっている。

決算報告

平成 29 年 3 月 31 日 現在

貸借対照表

平成29年3月31日現在

公益社団法人日本人間ドック学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	200,922,235	186,283,870	14,638,365
未収金	1,147,135	538,012	609,123
前払金	3,724,747	2,007,558	1,717,189
立替金	214,136	230,396	△ 16,260
流動資産合計	206,008,253	189,059,836	16,948,417
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
建物	1,302,330	1,502,109	△ 199,779
什器備品	1,599,994	900,188	699,806
ソフトウェア	360,240	525,360	△ 165,120
その他固定資産合計	3,262,564	2,927,657	334,907
固定資産合計	3,262,564	2,927,657	334,907
資産合計	209,270,817	191,987,493	17,283,324
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	3,317,622	△ 3,317,622
未払消費税等	2,034,900	2,251,300	△ 216,400
前受金	10,710,000	8,270,000	2,440,000
預り金	976,726	968,729	7,997
仮受金	10,000	40,000	△ 30,000
流動負債合計	13,731,626	14,847,651	△ 1,116,025
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	
負債合計	13,731,626	14,847,651	△ 1,116,025
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金 (うち特定資産への充当額)	71,084,813	71,084,813	
2. 指定正味財産			
受取寄付金			
指定正味財産合計 (うち特定資産への充当額)	0	0	
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	
(2) その他の一般正味財産	124,454,378	106,055,029	18,399,349
一般正味財産合計 (うち特定資産への充当額)	124,454,378	106,055,029	18,399,349
正味財産合計	195,539,191	177,139,842	18,399,349
負債及び正味財産合計	209,270,817	191,987,493	17,283,324

貸借対照表内訳表

平成29年3月31日現在

公益社団法人日本人間ドック学会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	15,279,160	611,263	185,031,812		200,922,235
未収金		1,147,135			1,147,135
前払金	3,108,661		616,086		3,724,747
立替金	214,136				214,136
流動資産合計	18,601,957	1,758,398	185,647,898	0	206,008,253
2. 固定資産					
(1) その他固定資産					
建物	1,139,536	81,397	81,397		1,302,330
什器備品	0	0	1,599,994		1,599,994
ソフトウェア	360,240	0	0		360,240
長期預け金			35,623,804	△ 35,623,804	
その他固定資産合計	1,499,776	81,397	37,305,195	△ 35,623,804	3,262,564
固定資産合計	1,499,776	81,397	37,305,195	△ 35,623,804	3,262,564
資産合計	20,101,733	1,839,795	222,953,093	△ 35,623,804	209,270,817
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払消費税等	1,800,281	234,619			2,034,900
前受金	10,710,000				10,710,000
預り金		240,000	736,726		976,726
仮受金			10,000		10,000
流動負債合計	12,510,281	474,619	746,726	0	13,731,626
2. 固定負債					
長期預り金	35,542,407	81,397		△ 35,623,804	
固定負債合計	35,542,407	81,397	0	△ 35,623,804	0
負債合計	48,052,688	556,016	746,726	△ 35,623,804	13,731,626
III 正味財産の部					
1. 基金					
基金	35,542,406		35,542,407		71,084,813
(うち特定資産への充当額)					
2. 指定正味財産					
受取寄付金					
指定正味財産合計	0	0	0	0	0
(うち特定資産への充当額)					
3. 一般正味財産					
(1) 代替基金	0	0	0	0	0
(2) その他の一般正味財産	△ 63,493,361	1,283,779	186,663,960		124,454,378
一般正味財産合計	△ 63,493,361	1,283,779	186,663,960	0	124,454,378
(うち特定資産への充当額)					
正味財産合計	△ 27,950,955	1,283,779	222,206,367	0	195,539,191
負債及び正味財産合計	20,101,733	1,839,795	222,953,093	△ 35,623,804	209,270,817

正味財産増減計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

公益社団法人日本人間ドック学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	107,204,000	105,492,000	1,712,000
正会員受取会費	57,224,000	55,362,000	1,862,000
施設会員受取会費	49,110,000	49,170,000	△ 60,000
賛助会員受取会費	870,000	960,000	△ 90,000
事業収益	193,930,520	209,135,390	△ 15,204,870
学術大会参加収益	43,966,000	53,666,390	△ 9,700,390
学術大会展示出店料収益	18,977,520	19,330,000	△ 352,480
学術大会共催セミナー収益	11,084,000	8,100,000	2,984,000
認定医・専門医研修会事業収益	21,815,000	24,190,000	△ 2,375,000
専門医試験・認定事業収益	11,464,000	13,292,000	△ 1,828,000
認定医認定・更新事業収益	9,270,000	9,700,000	△ 430,000
情報管理指導士研修認定事業収益	30,377,000	29,267,000	1,110,000
食生活改善指導士研修事業収益		0	0
機能評価審査・認定事業収益	25,650,000	27,650,000	△ 2,000,000
指定事業収益	20,140,000	22,410,000	△ 2,270,000
雑誌販売事業収益	1,187,000	1,530,000	△ 343,000
受取寄付金	7,826,000	4,940,300	2,885,700
受取寄付金	7,826,000	4,940,300	2,885,700
雑収益	10,898,061	9,560,998	1,337,063
受取利息	15,850	10,838	5,012
広告掲載料収益	5,266,800	3,379,000	1,887,800
雑収益	5,615,411	6,171,160	△ 555,749
経常収益計	319,858,581	329,128,688	△ 9,270,107
(2) 経常費用			
事業費	273,570,040	275,061,240	△ 1,491,200
給料手当	46,307,299	39,638,157	6,669,142
法定福利費	6,606,163	5,659,188	946,975
退職給付費用	1,853,220	1,736,020	117,200
福利厚生費			0
旅費交通費	22,443,580	20,535,384	1,908,196
通信運搬費	10,897,982	10,422,051	475,931
減価償却費	353,800	381,144	△ 27,344
消耗品費	3,733,435	7,915,767	△ 4,182,332
印刷製本費	42,732,708	40,027,646	2,705,062
光熱水料費	532,667	568,435	△ 35,768
賃借料	44,472,447	60,552,985	△ 16,080,538
会議費	8,229,642	6,601,906	1,627,736
諸謝金	12,022,612	13,786,186	△ 1,763,574
租税公課	4,183,000	4,293,584	△ 110,584
委託費	68,781,484	62,385,177	6,396,307
支払助成金			0
雑費	420,001	557,610	△ 137,609
管理費	27,669,634	26,332,798	1,336,836
給料手当	3,582,119	3,548,953	33,166
法定福利費	523,524	521,749	1,775
退職給付費用	154,800	144,000	10,800
福利厚生費	668,700	509,940	158,760
旅費交通費	7,914,553	7,121,080	793,473
通信運搬費	2,248,046	2,103,267	144,779
減価償却費	343,055	614,527	△ 271,472
消耗什器備品費		203,796	△ 203,796
消耗品費	2,589,323	1,351,382	1,237,941
修繕費		140,400	△ 140,400
印刷製本費	1,891,166	1,953,740	△ 62,574
光熱水料費	31,333	37,895	△ 6,562
賃借料	1,060,286	769,085	291,201
会議費	1,949,955	1,320,559	629,396
保険料	581,715	588,297	△ 6,582
諸謝金	175,000	455,000	△ 280,000
租税公課	73,290	151,916	△ 78,626
委託費	3,447,174	3,469,438	△ 22,264
交際費	150,392	179,288	△ 28,896
雑費	285,203	1,148,486	△ 863,283
経常費用計	301,239,674	301,394,038	△ 154,364
当期経常増減額	18,618,907	27,734,650	△ 9,115,743
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	219,558	0	219,558
固定資産除売却損	219,558		219,558
当期経常外増減額	△ 219,558	0	△ 219,558
当期一般正味財産増減額	18,399,349	27,734,650	△ 9,335,301
一般正味財産期首残高	106,055,029	78,320,379	27,734,650
一般正味財産期末残高	124,454,378	106,055,029	18,399,349
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
受取寄付金	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
基金受入額			0
基金返還額			0
基金増減額	0	0	0
基金期首残高	71,084,813	71,084,813	0
基金期末残高	71,084,813	71,084,813	0
IV 正味財産期末残高	195,539,191	177,139,842	18,399,349

正味財産増減計算書内訳表

自平成28年4月1日
至平成29年3月31日

公益社団法人 日本人間ドック学会

(単位：円)

I. 一般正味財産増減の部	科目	公益目的事業会計						収益事業等会計			法人会計	内部取引控除	合計		
		①学術大会・国際学会	②学会誌	③技能検定・資格認定(認定医・専門医・機能評価)	④資格付与(情報管理・食生活改善指導士研修会)	⑤統計・調査	共通	小計	①指定	共通				小計	
【1. 経常増減の部】															
(1) 経常収益															
1. 受取会費	1101 正会員受取会費	0	0	0	0	0	28,612,000	28,612,000	0	0	0	28,612,000	0	57,224,000	
	1102 施設会員受取会費	0	0	0	0	0	24,555,000	24,555,000	0	0	0	24,555,000	0	49,110,000	
	1103 賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	435,000	435,000	0	0	0	435,000	0	870,000	
2. 事業収益	1201 学術大会参加収益	43,966,000	0	0	0	0	0	43,966,000	0	0	0	0	0	43,966,000	
	1202 学術大会展示出店料収益	18,977,520	0	0	0	0	0	18,977,520	0	0	0	0	0	18,977,520	
	1203 学術大会共催セミナー収益	11,084,000	0	0	0	0	0	11,084,000	0	0	0	0	0	11,084,000	
	1204 認定医・専門医研修会事業収益	0	0	21,815,000	0	0	0	21,815,000	0	0	0	0	0	21,815,000	
	1205 専門医試験・認定事業収益	0	0	11,464,000	0	0	0	11,464,000	0	0	0	0	0	11,464,000	
	1206 認定医認定・更新事業収益	0	0	9,270,000	0	0	0	9,270,000	0	0	0	0	0	9,270,000	
	1207 情報管理指導士研修認定事業収益	0	0	0	30,377,000	0	0	30,377,000	0	0	0	0	0	30,377,000	
	1208 食生活改善指導士研修事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1209 機能評価審査・認定事業収益	0	0	25,650,000	0	0	0	25,650,000	0	0	0	0	0	25,650,000	
	1210 指定事業収益	0	0	0	0	0	0	0	20,140,000	0	20,140,000	0	0	20,140,000	
	1211 雑誌販売事業収益	511,000	8,000	668,000	0	0	0	1,187,000	0	0	0	0	0	1,187,000	
	1212 国際人間ドック会議会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3. 受取補助金等	1301 助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
4. 受取寄付金	1401 受取寄付金	7,826,000	0	0	0	0	0	7,826,000	0	0	0	0	0	7,826,000	
	1402 受取寄付金振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5. 雑収益	1501 受取利息	220	0	0	0	0	0	220	0	0	0	15,630	0	15,850	
	1502 広告掲載料収益	4,438,800	828,000	0	0	0	0	5,266,800	0	0	0	0	0	5,266,800	
	1503 雑収益	55,970	160,204	1,589,042	0	0	0	1,805,216	3,427,135	0	3,427,135	383,060	0	5,615,411	
A	【経常収益計】	86,859,510	996,204	70,456,042	30,377,000	0	53,602,000	242,290,756	23,567,135	0	23,567,135	54,000,690	0	319,858,581	
(2) 経常費用															
1. 事業費	2101 給料手当	3,766,727	1,794,114	28,009,394	8,976,438	1,972,607	0	44,519,280	1,788,019	0	1,788,019	0	0	46,307,299	
	2102 法定福利費	548,738	270,029	3,989,611	1,265,586	278,701	0	6,352,665	253,498	0	253,498	0	0	6,606,163	
	2103 退職給付費用	136,800	72,000	1,064,820	432,000	64,800	0	1,770,420	82,800	0	82,800	0	0	1,853,220	
	2104 福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2105 旅費交通費	4,491,364	744,500	11,680,346	2,608,880	2,787,490	0	22,312,580	131,000	0	131,000	0	0	22,443,580	
	2106 通信運搬費	2,069,042	5,710,168	1,176,533	1,691,557	242,402	0	10,889,702	8,280	0	8,280	0	0	10,897,982	
	2107 減価償却費	11,099	4,439	193,188	131,756	6,659	0	347,141	6,659	0	6,659	0	0	353,800	
	2108 消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2109 消耗品費	3,509,187	140,000	55,200	3,348	25,700	0	3,733,435	0	0	0	0	0	3,733,435	
	2110 修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2111 印刷製本費	9,608,505	15,969,275	9,952,773	5,337,934	1,730,950	0	42,599,437	133,271	0	133,271	0	0	42,732,708	
	2112 光熱水料費	31,334	12,533	325,867	125,333	18,800	0	513,867	18,800	0	18,800	0	0	532,667	
	2113 賃借料	26,632,666	241,820	9,854,180	7,175,123	285,504	36,720	44,226,013	246,434	0	246,434	0	0	44,472,447	
	2114 会議費	7,591,686	48,600	359,331	12,289	217,736	0	8,229,642	0	0	0	0	0	8,229,642	
	2115 保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2116 諸謝金	2,572,689	0	6,429,923	3,020,000	0	0	12,022,612	0	0	0	0	0	12,022,612	
	2117 租税公課	1,616,752	20,385	1,164,153	899,444	0	0	3,700,734	482,266	0	482,266	0	0	4,183,000	
	2118 委託費	32,053,471	15,560,424	6,823,390	8,966,687	4,592,160	785,352	68,781,484	0	0	0	0	0	68,781,484	
	2119 支払助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2120 雑費	54,153	219,008	133,556	10,800	2,484	0	420,001	0	0	0	0	0	420,001	
2. 管理費	2201 給料手当											3,582,119	0	3,582,119	
	2202 法定福利費											523,524	0	523,524	
	2203 退職給付費用											154,800	0	154,800	
	2204 福利厚生費											668,700	0	668,700	
	2205 旅費交通費											7,914,553	0	7,914,553	
	2206 通信運搬費											2,248,046	0	2,248,046	
	2207 減価償却費											343,055	0	343,055	
	2208 消耗什器備品費											0	0	0	
	2209 消耗品費											2,589,323	0	2,589,323	
	2210 修繕費											0	0	0	
	2211 印刷製本費											1,891,166	0	1,891,166	
	2212 光熱水料費											31,333	0	31,333	
	2213 賃借料											1,060,286	0	1,060,286	
	2214 会議費											1,949,955	0	1,949,955	
	2215 保険料											581,715	0	581,715	
	2216 諸謝金											175,000	0	175,000	
	2217 租税公課											73,290	0	73,290	
	2218 委託費											3,447,174	0	3,447,174	
	2219 交際費											150,392	0	150,392	
	2220 雑費											285,203	0	285,203	
B	【経常費用計】	94,694,213	40,807,295	81,212,265	40,657,175	12,225,993	822,072	270,419,013	3,151,027	0	3,151,027	27,669,634	0	301,239,674	
	■評価損益等調整前当期経常増減額	△ 7,834,703	△ 39,811,091	△ 10,756,223	△ 10,280,175	△ 12,225,993	52,779,928	△ 28,128,257	20,416,108	0	20,416,108	26,331,056	0	18,618,907	
	2810 基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2820 特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2830 投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	【評価損益等計】	△ 7,834,703	△ 39,811,091	△ 10,756,223	△ 10,280,175	△ 12,225,993	52,779,928	△ 28,128,257	20,416,108	0	20,416,108	26,331,056	0	18,618,907	
C	【当期経常増減額】	△ 7,834,703	△ 39,811,091	△ 10,756,223	△ 10,280,175	△ 12,225,993	52,779,928	△ 28,128,257	20,416,108	0	20,416,108	26,331,056	0	18,618,907	
【2. 経常外増減の部】															
(1) 経常外収益															
※固定資産売却益	1910 資産売却益・資産受贈益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	【経常外収益計】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用															
※固定資産売却損	2910 資産売却損・資産減損損失等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	219,558	0	219,558	
	【経常外費用計】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	219,558	0	219,558	
	【当期経常外増減額】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 219,558	0	△ 219,558	
	■他会計振替額	1990	0	0	0	0	20,416,108	20,416,108	△ 20,416,108	0	△ 20,416,108	0	0	0	
	【当期一般正味財産増減額】	△ 7,834,703	△ 39,811,091	△ 10,756,223	△ 10,280,175	△ 12,225,993	73,196,036	△ 7,712,149	0	0	0	26,111,498	0	18,399,349	
	【一般正味財産期首残高】	△ 51,337,416	△ 262,447,251	△ 46,772,833	△ 56,786,003	△ 106,114,399	467,676,690	△ 55,781,212	1,283,779	0	1,283,779	160,552,462	0	106,055,029	
D	【一般正味財産期末残高】	△ 59,172,119	△ 302,258,342	△ 57,529,056	△ 67,066,178	△ 118,340,392	540,872,726	△ 63,493,361	1,283,779	0	1,283,779	186,663,960	0	124,454,378	
II. 指定正味財産増減の部															
	受取補助金等														

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 適用している会計基準

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日平成21年10月16日改正内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

建物付属設備	定率法
什器備品	定率法

なお、主な耐用年数は次のとおりです。

建物付属設備	15年
什器備品	5年

② 無形固定資産

定額法

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込経理を採用している

2 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	2,560,235	1,830,713	729,522
什器備品	3,430,707	1,830,713	1,599,994
合計	5,990,942	3,661,426	2,329,516

3 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

独立行政法人勤労者退職金共済機構の退職金共済制度に加入し、原則として同機構からの支給額をもって退職金とする。

(2) 退職給付債務及びその内訳

退職給付債務	0	当該退職共済制度は確定拠出型のため、退職給付債務は発生しない。
退職給付引当金	0	

(3) 退職給付費用に関する事項

勤務費用	2,008,020	
退職給付費用	2,008,020	当年度に支払った退職金共済掛金の金額である。

財 産 目 録

平成29年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金	振替貯金 ： ゆうちょ銀行一番町郵便局 普通預金 ： 三井住友銀行麹町支店	支払資金として使用	28,256,547
		支払資金として使用	132,611,031
	定期預金 ： 三井住友銀行麹町支店 ： ゆうちょ銀行一番町郵便局		30,054,657
			10,000,000
	未収入金	特定健診 ^ハ ソフト・DVD著作権料	1,147,135
	前払金	翌年度事務所賃料	616,086
翌年度研修会等会場費		3,108,661	
立替金	他団体経費	80,496	
	交通費立替払い	68,880	
	職員住民税	57,200	
	学会誌別冊代	7,560	
流動資産合計			206,008,253
(固定資産)			
その他固定資産			
建物	事務所賃貸造作	事務局及び会議室	1,302,330
		公益目的事業に87.5%、収益事業等に6.25%、法人管理に6.25%使用	
什器備品	パーソナルコンピューター コピー機	会員管理・事業管理用 会員管理・事業管理用	1,209,610 390,384
ソフトウェア		会員管理・事業管理用 (公益目的保有財産) 公益目的事業管理ソフト	360,240
固定資産合計			3,262,564
資産合計			209,270,817
(流動負債)			
未払消費税等	確定申告納付消費税等未払額		2,034,900
前受金	次年度事業前受額		10,710,000
預り金	一般社団法人日本病院会 源泉所得税、住民税 社会保険料	指定料	240,000
			377,356
			359,370
仮受金	会費二重払い、誤納付分		10,000
流動負債合計			13,731,626
(固定負債)			
固定負債合計			
負債合計			13,731,626
差引正味財産			195,539,191

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

該当なし

2. 引当金の明細

該当なし

(単位：円)